

4 平成31年度 学校経営方針

1 本校の沿革

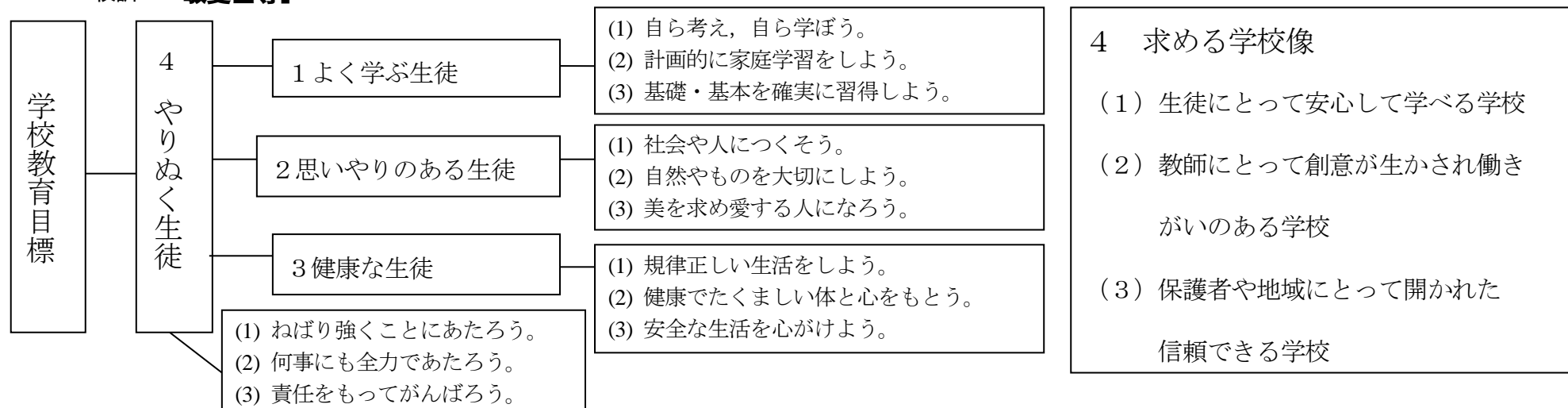
- ・ 蕪崎中学校（昭和22年4月10日開校）の初代校長浅川耕三氏が昭和25年、校訓を『敬愛自尊』とする。
- ・ 『自尊の鐘』を蕪崎中学校昭和26年3月卒業生（大村智博士を含む）が卒業記念品として寄贈する。
- ・ 昭和41年蕪崎中学校と甘利中学校が統合し蕪崎西中学校となる。
- ・ 昭和43年新校舎が完成し実質統合を機に新たに「校章」「校歌」を制定。
- ・ 校訓『敬愛自尊』と『自尊の鐘』が引き継がれ、以来、毎朝自尊の鐘を鳴らし黙想を続けている。
- ・ 平成18年8月に新校舎起工式。平成19年11月15日新校舎完成。平成20年1月より使用。新体育館・武道館・プールは平成20年11月15日完成。11月17日より使用。引き続き校庭等の外構工事。平成21年3月24日竣工式を挙げる。
- ・ 平成27年創立50周年を迎える。10月5日に大村智博士のノーベル賞医学生理学賞受賞が決定する。

2 『敬愛自尊』の精神を受け継ぎ伸ばす教育の推進

「人を敬い、いつくしみ、自らをたつとび、自らを高める人になろう」という、開校以来の精神を受け継ぎ、保護者、地域と一層の連携を図る中で、特色ある学校教育活動を推進していく。

3 学校教育目標

校訓 「敬愛自尊」



5 学校経営の基本方針

(1) 知・徳・体の調和を重視し、「生きる力」をはぐくむ教育課程の編成と実施に努める。

- ① 学校教育目標の具現化と特色ある学校づくりに努める。
- ② 各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間や学年相互間の連携と調和を図り、創意工夫ある指導計画を作成する。
- ③ 環境教育、情報教育、郷土学習等を学校教育活動の中に適切に位置づけ、その充実を図る。

- ④ 学校の教育活動全体を通して、体系的・系統的なキャリア教育の充実を図る。
- ⑤ インクルーシブ教育システムの構築を図り、生徒個々の教育的ニーズに基づく特別支援教育の推進に努める。
- (2) **生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、確かな学力をはぐくむ指導と評価に努める。**
 - ① 確かな学力の向上に向け、生徒の学力・学習状況を把握し、教師一人一人の創意ある取組や学校全体としての組織的・計画的な取組の推進を図る。
 - ② 指導方法の工夫・改善に努め、家庭学習とも連携して基礎的・基本的な内容が確実に身につくようにする。
 - ③ 体験的な学習と言語活動を重視し、「主体的・対話的で深い学び」を通して思考力・判断力・表現力等をはぐくむ。
 - ④ 生徒の可能性を見だし学習意欲を喚起する評価に努める。
- (3) **集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を育成し、人間としての生き方についての自覚を深め、よりよく生きようとする態度を育成する生徒指導に努める。**
 - ① 適切な生徒理解や心の居場所づくりに努め、望ましい集団活動を通して心の触れ合いを深め、いじめや不登校のない楽しい学校生活の実現をめざす。
 - ② 人間としての生き方についての自覚を深め、人間としてよりよい生き方を求める道徳的実践力を育成する。
 - ③ 読書活動や文化芸術活動、豊かな体験活動を通して、豊かな感性や豊かな心を育てる。
 - ④ 学校、家庭、地域社会との連携を深め、しなやかな心の育成を図り、自他を敬愛する心や健全な生活態度を育てる。
- (4) **体育・スポーツ及び健康・安全に関する基礎・基本となる資質や能力の育成に努める。**
 - ① 体育・スポーツを積極的に推進し、運動に親しみ進んで運動を実践する能力や態度を育て、体力の向上を図る。
 - ② 身近な健康・安全及び食に関する理解を通して、生涯にわたって健康で安全な生活を送るための実践力を育てる。
- (5) **安全・安心を基盤とし、家庭や地域に開かれた信頼される学校づくりの推進に努める。**
 - ① 学校安全計画及び防災・防犯等の危機管理マニュアルの改善・充実と、それに基づく安全管理体制の充実に努める。
 - ② 防災や安全に対する意識の向上を図り、実践的な避難訓練等の実施に努める。
 - ③ 学校ブログ・学校だより等の効果的な活用をはかる中で、地域や保護者に積極的な情報発信を行い、学校への理解を深める。
 - ④ 家庭や地域社会との積極的な交流、協力体制の促進に努める。
- (6) **研修活動の積極的推進を図る。**
 - ① 教師自らが人間的に成長し専門性を高め、日常の教育活動の充実と改善に努める。
 - ② 協働による共通理解と研究の深化・発展のために、授業研究を積極的に推進し、学びのある授業の創造に努める。

6 本年度の重点目標

- (1) **自治的で望ましい集団の育成**を通して、諸活動の活性化を図り、**生徒の学力・体力・気力の充実**を図る。
- (2) 見通す振り返る授業に努め、互いに学び合う対話的な学習を通して、**確かな学力をはぐくむ指導と評価**に努める。
- (3) 家庭と連携して**学習習慣を確立し、学力の向上**に努める。
- (4) 文化芸術活動、読書活動、体験活動を通して、**美を求め、愛する事のできる豊かな感性と情操**を育てる。
- (5) 道徳的実践力を育て、保護者や地域と連携して、**しなやかな心の育成**に努める。
- (6) 生徒の**心身の健康維持と体力向上、食や安全に対する意識の向上**に努め、実践力を高める。
- (7) **地域の教育資源（人材、自然、歴史文化、施設、産業等）**を活用した教育活動を工夫する。
- (8) **特別支援教育**に対する理解を深め、一人一人の特性に応じた支援に努める。
- (9) **防災意識の向上**や危機管理に対する意識を高め、登下校や教育活動における**安全を確保**する。
- (10) 葦崎西中の生徒であるという自覚を持たせ、校訓の意味する**自他を敬愛する心**を育む。